

特別企画 電波COE研究開発プログラム～電波利活用強靱化セッション～

電波利活用強靱化に向けた周波数創造技術に関する研究開発及び人材育成プログラム

概要

総務省の戦略的情報通信研究開発推進事業 (SCOPE) により、京都大学と連携してワイヤレス分野の中核拠点：電波COE (Center of Excellence) を構築し、電波利活用強靱化技術 (柔軟でかつ力強い電波利用を支える技術) に関する5つの先端的研究開発を通じて、セレンディピティ (思わぬものを発見する能力) を持つ意識の高い無線研究者・技術者を育成します。

特徴

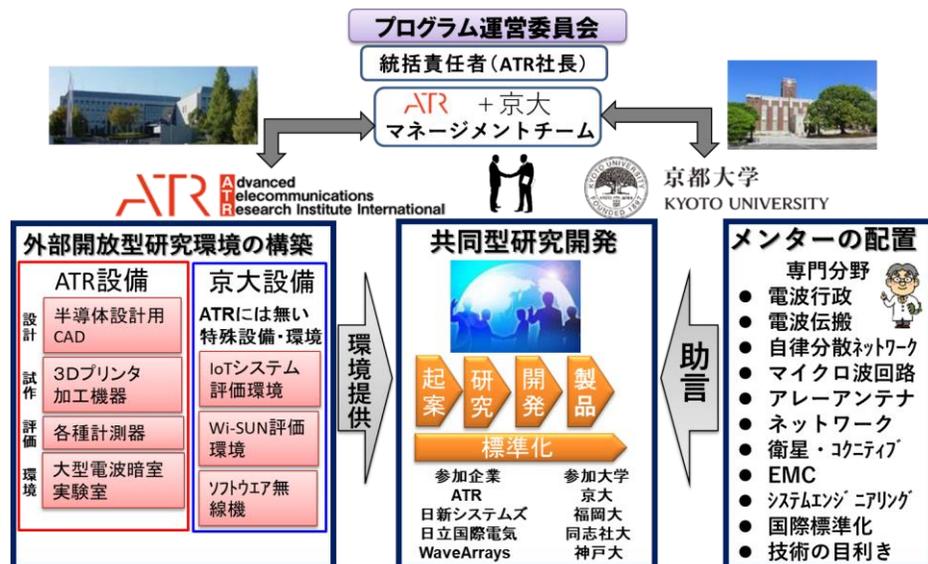
- 5つの共同型研究開発を中心に、無線に関する先端的研究と、新しい分野への無線技術の適用を推進しています。
- 京大との連携により、ATRにない教育機能や特殊設備などを補完し、幅広いサポート体制を構築しています。
- 各分野で豊富な実績を持つメンターから様々な角度からの助言をダイレクトに受けて、優れた研究成果をあげています。
- 一般の研究者・技術者の方々も、研究目的であることなど一定の条件を満足すれば、大型電波暗室や半導体設計用のCADなど特殊な設備を使用することができます。

今後の展開

- 共同型研究開発の成果展開を進めます。また広報活動を強化し、このアクティビティを広く知っていただき、電波の利用に関する啓蒙と、外部開放型研究環境の提供を進めていきます。

テーマ (科学技術が描く明るい未来社会～大阪・関西万博に向けて～) への関連

- Beyond5G時代に向けて、優れた無線技術者の育成が急務になっています。本プログラムを通じて、既に多くの学生・若手研究者が育ちつつあります。今後さらに優れた研究者・技術者の育成と新しい技術開発に貢献していきます。



全体概要



大型電波暗室



キュービクル



3Dプリンタ及び実験エリア

利用可能な外部開放型研究環境の一例